

平成27年11月5日

国土交通省九州地方整備局

遠賀川河川事務所

遠賀川における「避難を促す緊急行動」に関する取り組みについて

～トップセミナーを実施～

国土交通省では、関東・東北豪雨を受けて「避難を促す緊急行動」を実施することとしています（平成27年10月5日 水管理・国土保全局 記者発表（別紙【参考資料①】参照））。

この一貫で、遠賀川流域の20市町村を対象に、福岡管区気象台の協力を得て、トップセミナーを実施することとしましたので、お知らせします。

○トップセミナー（個別に首長を訪問）

- ・ トップセミナーでは、遠賀川流域20市町村長を遠賀川河川事務所長が福岡管区気象台とともに個別に訪問し、遠賀川水系の河川水位に応じた防災情報や今後の遠賀川河川事務所における水防災への取り組みなどをご説明するとともに、地域の安全・安心を確保するための方策についてご意見を伺います。
取材可能なトップセミナーは下記のとおりです。

直方市 平成27年11月11日（水）11時30分～12時00分 直方市役所
（直方市を皮切りに、順次、実施する予定です（別紙【参考資料②】参照））。

- ・ 遠賀川河川事務所管内では、「避難を促す緊急行動」に関する他の取り組みとして、「遠賀川流域防災担当者会議」の開催や「重要水防箇所の再点検」の実施を予定しております。
詳細につきましては、後日、記者発表を通じてお知らせいたします。

【問合せ先】

国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所

福岡県直方市溝堀1丁目1-1（電話：0949-22-1830（代表））

技術副所長 平松 英樹（ひらまつ ひでき）（内線205）

防災情報課長 内田 康之（うちだ やすゆき）（内線281）

【同時発表記者クラブ】 ■北九州地区、■直方地区、■飯塚地区、■田川地区



平成 27 年 10 月 5 日

水管理・国土保全局

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて 「避難を促す緊急行動」を実施します

この度の平成 27 年 9 月関東・東北豪雨により、全国各地において浸水被害等が発生しており、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、約 1 万 1 千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

今回の水害を受け、

- ① 堤防決壊に伴う氾濫流による家屋の倒壊・流失
- ② 地方公共団体による避難判断、広域避難
- ③ 避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生

の 3 点を対処すべき主な課題と捉え、全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの住民の方々の不安や懸念に応えるための「避難を促す緊急行動」を実施することと致しましたので、お知らせいたします。

添付資料

- 【別紙 1】平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害を踏まえた主な課題
- 【別紙 2】平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて
「避難を促す緊急行動」
- 【別紙 3】「避難を促す緊急行動」の概要

<問い合わせ先>

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課

河川事業調整官 林 正道 (内線 35302)

河川企画係長 三國谷 隆伸 (内線 35333)

TEL : (03) 5253-8111 (代表)

TEL : (03) 5253-8443 (直通) FAX : (03) 5253-1602

【参考資料②】

トップセミナー実施予定市町村

	市町村名		市町村名
1	北九州市 八幡西区	11	小竹町
2	直方市	12	鞍手町
3	飯塚市	13	桂川町
4	田川市	14	香春町
5	中間市	15	添田町
6	宮若市	16	糸田町
7	嘉麻市	17	川崎町
8	芦屋町	18	大任町
9	水巻町	19	赤 村
10	遠賀町	20	福智町

※記載順序：地方公共団体コード順